山形大学 第１回 社会共創ワークショップ
－大学を知る×地域を知る－

事例紹介

学生の地域定着に向けた
キャリア・就職支援について

山形大学　キャリアサポートセンター
センター長　松坂暢浩
※共同作成者　山本　美奈子（山形大学　学術研究院　准教授）

国家資格 キャリアコンサルタント（登録番号16037175）
米国CCE, Inc.GCDF-Japanキャリアカウンセラー

本日の流れ（タイムスケジュール）

１）コロナ禍における学生の傾向

２）山形大学における産学連携による就職支援

３）山形大学における産学連携によるキャリア教育

本日の流れ（タイムスケジュール）

１）コロナ禍における学生の傾向

２）山形大学における産学連携による就職支援

３）山形大学における産学連携によるキャリア教育

コロナ禍における就活生の傾向

2023年卒の学生の就職意識

企業選択のポイントとして
「安定している」が43.9%で最多

■「企業に安定性を感じるポイント」（上位3位）

1）「福利厚生が充実している」
2）「安心して働ける環境である」
3）「売上高」

■ 大手企業志向の学生が減少し、
中堅・中小企業志向が増加。

ポイント

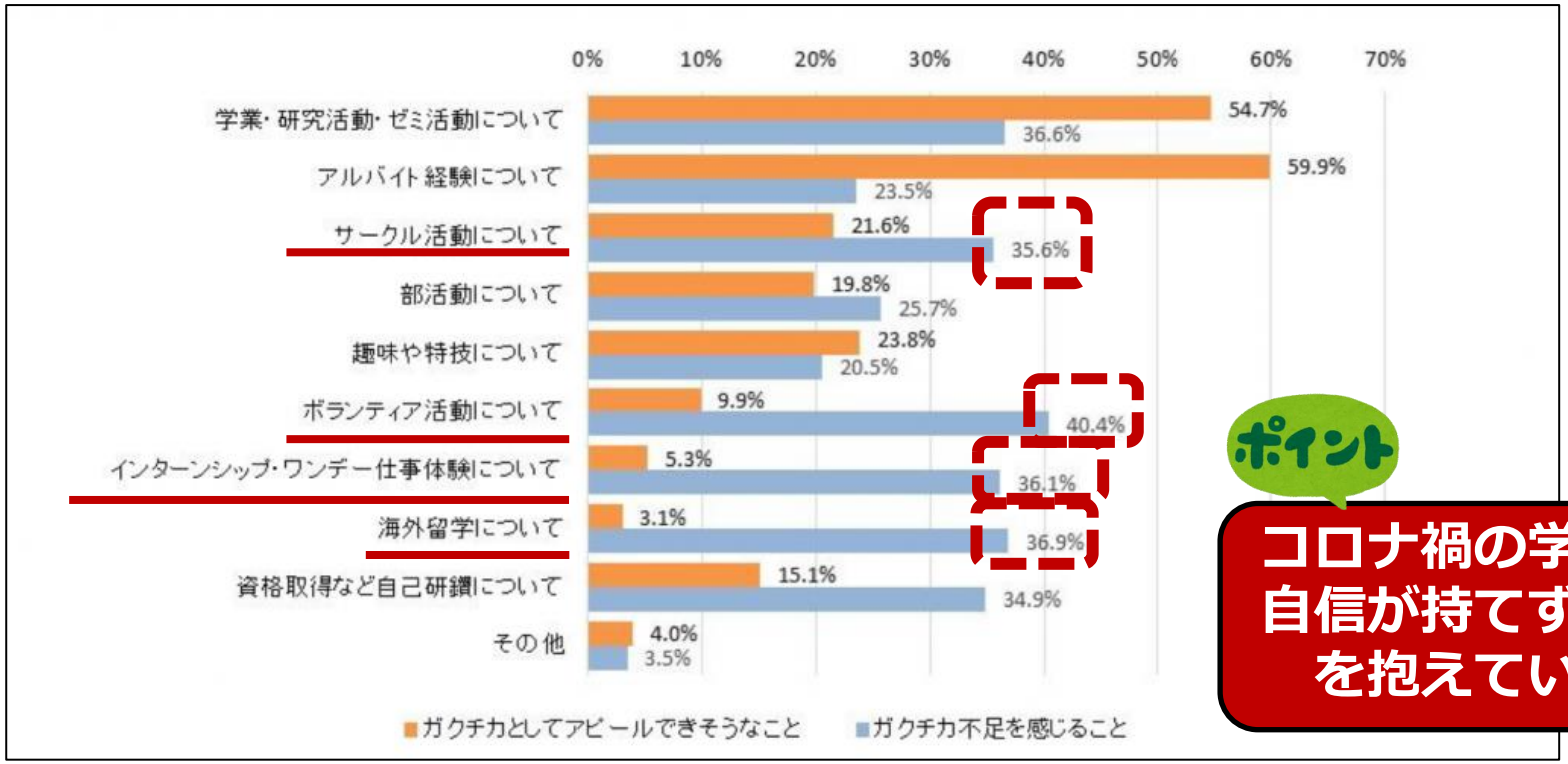
学生の考える「安定」は多様化している

出所）株式会社マイナビ（2022）「2023年卒マイナビ大学生就職意識調査」
https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2022/04/a958ccfb3f6afa0becd24b078d7ed9e9-1.pdf
（最終取得日 2022年2月7日）

学生の「ガクチカ」に対する不安

学生はガクチカのなかでも課外活動が不足していると感じている

ガクチカについて、アピールできそうなこと、不足を感じていること



ポイント

コロナ禍の学生は自信が持てず不安を抱えている

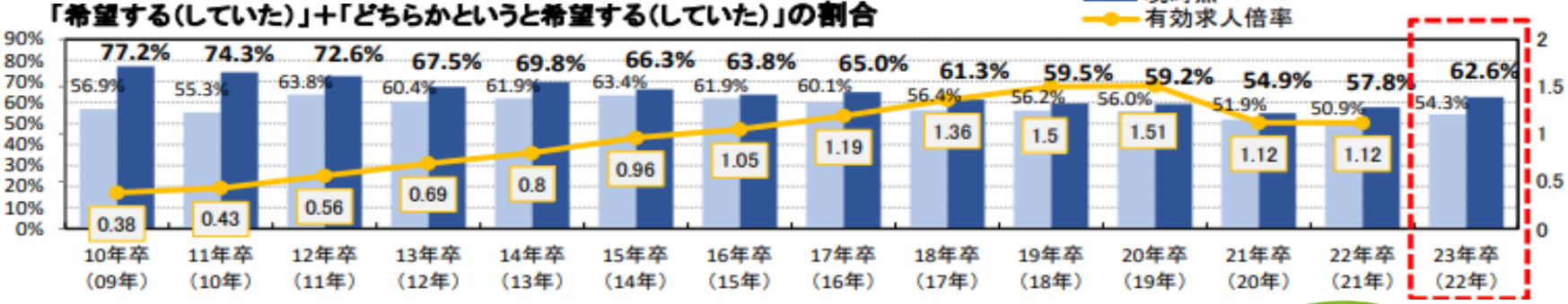
出所）株式会社マイナビ（2022）「マイナビ 2023年卒大学生 活動実態調査（3月1日）」
https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2022/03/2023-0301-katudoujittai.pdf
（最終取得日 2023年2月7日）

大学生Uターン・地元就職に関する希望

2023卒の学生の約6割が地元就職（Uターン含む）を希望

地元（Uターン含む）就職希望者

「希望する（していた）」＋「どちらかというと希望する（していた）」の割合



- 地元以外に進学した学生にとって、地元企業での就職活動にあたり<u>交通費が障害になっている</u>と感じている割合が増加。
- 地元就職を希望しない学生に、その理由を聞いたところ「都会の方が便利だから」「志望する企業がないから」などの回答が上位。しかし<u>「働きたいと思うような企業」や「給料がよい就職先」があれば地元就職を検討できると回答</u>。

ポイント

行政からの支援も必要

出所）株式会社マイナビ「2023年卒 大学生Uターン・地元就職に関する調査」
https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2022/05/s-Uturn23-004.pdf
（最終取得日 2023年2月7日）

本日の流れ（タイムスケジュール）

1）コロナ禍における学生の傾向

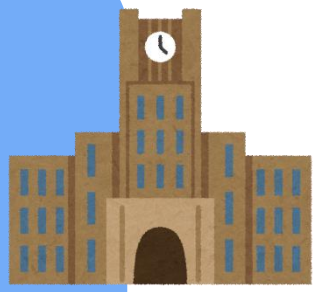
2）山形大学における産学連携による就職支援

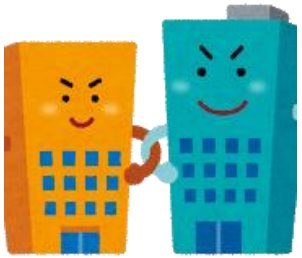
3）山形大学における産学連携によるキャリア教育

本学のキャリア教育・就職支援体制について

① 大 学（キャリアセンター）

専任教員　職員





連 携

②県内企業

・アライアンスネットワーク（60社）
・山形県中小企業家同友会（40社）

③行 政

山形県、山形市など

本学の入学から卒業まで一貫した支援の流れ

専任教員とセンター職員が県内企業と連学して実施

1年生 → 2年生 → 3年生 → 4年生

キャリア教育

- キャリアデザインの授業
- インターンシップ

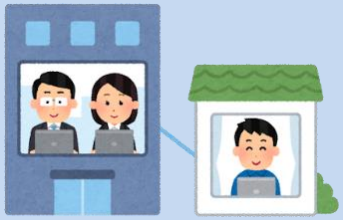
就職支援

- 合同企業説明会
- 個別マッチング支援

学生ニーズを踏まえた支援

→定期的に学生アンケートを行い、
その結果を踏まえた支援を実施

①オンラインによる支援



→オンラインによるキャリア・就職支援
（就職相談や就職ガイダンス等）の充実。

②地域就職に関する支援

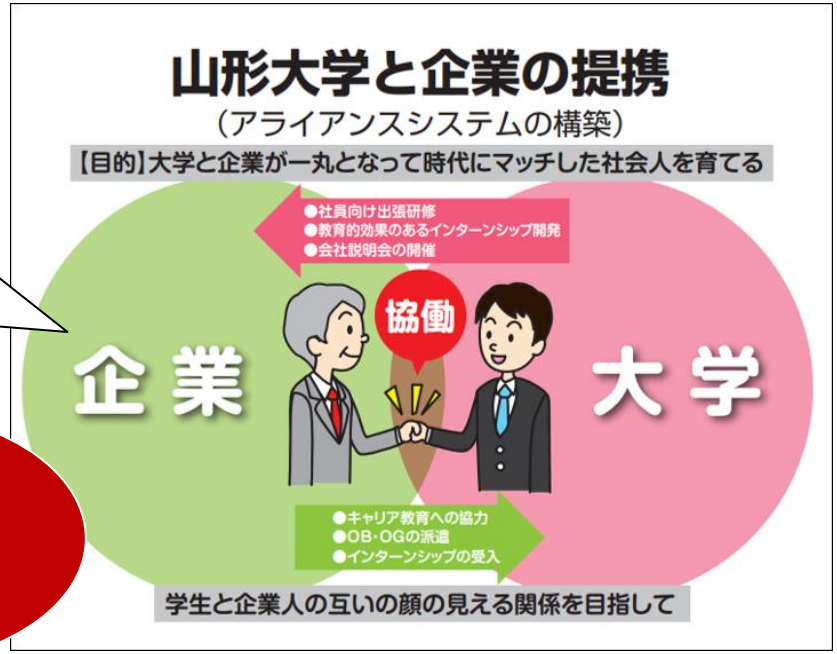
→地域企業の魅力を発信する独自の工夫
→専任教員による地域企業との個別マッチング

山形大学アライアンスネットワーク

アライアンスネットワーク参画企業

荘内銀行
山形銀行
Shelter
NittoBest
IG KOGYO
KAWADEN
yamatoTEC
Koyama
ACE JAPAN
ヤマザワ
MICRON
遠藤商事株式会社
NDソフトウェア株式会社
NIKUNI
山形航空電子

59社
（2023年1月現在）



取組内容

- アライアンス企業との面談会（会社説明会）
- アライアンス企業に勤める本学OB・OGとの座談会
- キャリア教育（授業内でのアライアンス企業による講演など）
- アライアンス企業の採用担当者を対象とした研修会
- 大学、学生、アライアンス企業との意見交換会
- 企業研究冊子の発行、学生への配布

出所）松坂暢浩（2017）「地域の企業と大学が連携した人材育成」菅原良,松下慶太,木村拓也,渡部昌平,神崎秀嗣（編著）『キャリア形成支援の方法論と実践』,東北大学出版会
山形大学ホームページ「アライアンスネットについて」https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/employment/student/alliance/
（最終取得日 2023年2月7日）

山形大学 Yamagata University

山形大学における独自の県内企業の情報発信

ＰＲについて

・できるだけ写真などを掲載ください。
・キャッチフレーズなど、学生が一目で貴社のＰＲを理解できるように工夫してください。
・○○学科の学生はぜひ！〇〇を生かして働けます！〇〇を希望する方にオススメ！など学生がエントリーしやすくなるようなメッセージがあると効果的です。
・文字が小さくなりすぎないように、できるだけ内容を絞って作成してください。

■本社所在地、■山大OB・OG数、■募集職種、■勤務地、■平均勤続年数、■離職率(過去3年)）、■月平均所定外労働時間の記載をお願いします。

【キャリアセンターからのお薦めポイント】

- 大学として貴社を勧める上でポイントになる点を簡潔に教えてください。

【若手職員に聞きました！】

● この会社を選んだ理由（志望動機）

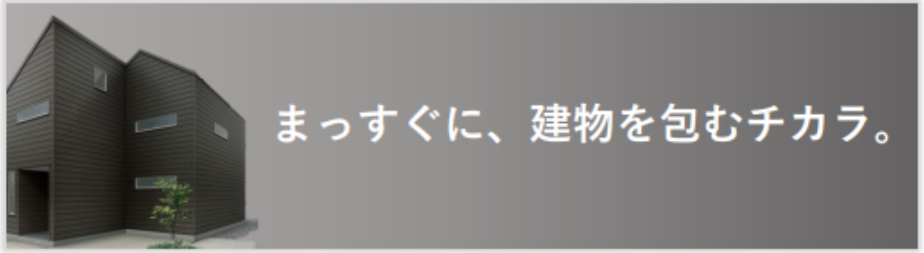
学生が志望動機を作成する際に参考になるよう、決め手になった「ポイント」等を入れていただくようお願いします。

● 入社して実感した会社の魅力

・働いているからこそ感じられる仕事の魅力について、具体的な仕事のシーンと併せて記載ください。
・入社後のミスマッチを防ぐ上でも、実際に働いて感じた入社前のイメージとのギャップを盛り込んでいただくのも効果的です。

山形大学における独自の県内企業の情報発信

IG KOGYO アイジー工業 株式会社



断熱樹脂入り金属外壁・屋根材メーカー

金属製外壁材「金属サイディング」市場のリーディングカンパニーである当社は、研究開発から製造、販売までの一貫体制が強みです。建築・建材の業界に直結しない学部・学科からも多くの方が入社し、多様な専門性をもって活躍しています。

詳細はマイナビから！

■本社所在地：山形県東根市　■山大OB・OG数：47人
■募集職種：総合職（研究開発・製造・営業・総務）
■勤務地：山形県（本社、2工場）、茨城県(工場)、全国10営業所
■平均勤続年数：17.3年　■離職率(過去3年)：9%
■月平均所定外労働時間：15.6時間（2019年度実績）

担当者名：総務部 人事チーム　保科・加藤・齋藤
ＴＥＬ：0237-43-1830
メールアドレス：jinji@igkogyo.co.jp

【キャリアセンターからのお薦めポイント】

★暮らしに欠かせない「建物」の顔をつくる会社です。
★山大小白川キャンパスの体育館にも使われています。
★研究開発・製造・販売の一貫体制が強みです。

【若手社員に聞きました！】

●この会社を選んだ理由（志望動機）

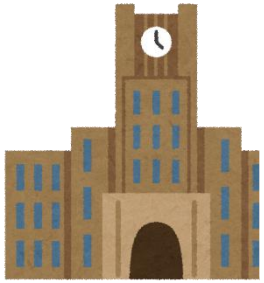
「地球上で人が生活する限り、外壁・屋根の需要は必ずある。それを製造しているメーカーは強い、だからこの会社はなくならない。」私がこの会社に入社を決めたのは、採用担当から聞いたこの言葉が決め手となりました。

山形大学 地域教育文化学科
スポーツ文化コース 卒業
営業部 竹中社員（2016年卒）

●入社して実感した会社の魅力

営業所が全国に10ヶ所ありますが、各エリアの主要拠点にありますので、休日なども退屈することがありません。また4部署(研究開発、製造、営業、総務)の風通しが良く、より良い会社作りをしていこう、と社員が一丸となって目指している姿が目にみえた事も魅力の一つでした。

地域企業と学生のマッチング支援



大学

マッチング支援を
専任教員が担当

企業紹介
個別面談
選考中のフォロー

採用情報の
ヒアリング
学生紹介
選考状況の確認

密な
連携

地域就職を
希望する学生

選考

地域企業

県内自治体との連携について

「やまがたの自治体発見プログラム」

【本サイトのコンテンツ】

①オンラインセミナー

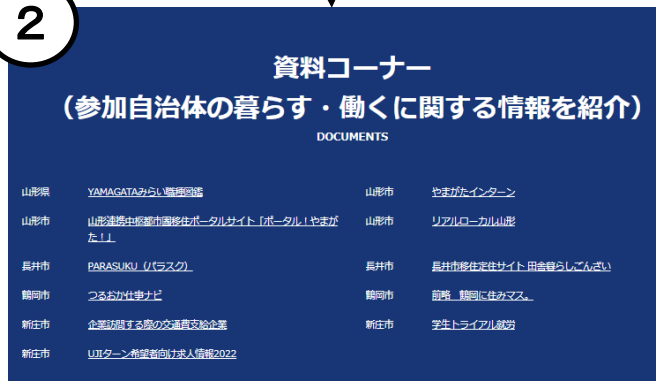
参加自治体の魅力を紹介する動画を公開

②資料コーナー

参加自治体の暮らす・働くに関する情報を紹介

1

2



1/13～1/26の公開期間中に延べ387名が本サイトを閲覧

※現在、公開期間を延長中

※本サイトは、みやぎ・せんだい地域人材育成協働事業プラットフォーム事務局の助言および支援をいただき、「みやぎの自治体発見プログラム」を参考に、山形大学が企画・運営しています。

山形大学 Yamagata University

本日の流れ（タイムスケジュール）

1）コロナ禍における学生の傾向

2）山形大学における産学連携による就職支援

3）山形大学における産学連携によるキャリア教育

山形大学の主なキャリア教育

地域社会に関心を向け、県内企業の理解を深める
産学連携のキャリア教育に力を入れている

キャリア教育（キャリアデザイン科目「社会理解」）

テーマ：社会を知る時間：「社会理解」

内容

<テーマ①>

地域経済など地域企業を取り巻く環境について

1. 山形県中小企業家同友会
2. 財務省東北財務局山形財務事務所
3. 山形地方裁判所
4. 新庄市・最上地区の中小企業
5. 東北税理士会山形県支部連合会
6. 仙台市・宮城県中小企業家同友会

地域の官公庁や経済団体による講演を聞き学習する

<テーマ②>

企業研究

対象企業：山形大学アライアンスネットワーク参画企業

社会理解を深めるために県内企業の「企業研究」に取り組み、成果をまとめる

学習方法

オンライン（オンデマンド形式）**による自己学習**

（動画視聴、授業資料と教科書の閲覧、チャット機能の活用、課題提出等）

2022年度履修者 **932名**

キャリア教育（キャリアデザイン科目「社会理解」）

授業の受講前に比べて自尊感情、キャリア意識が上昇し、 不安と抑うつが低下

授業満足度 94.0%
（「大変満足」と「満足」の合計）

企業理解度 94.8%
（「大変深まった」と「深まった」合計）

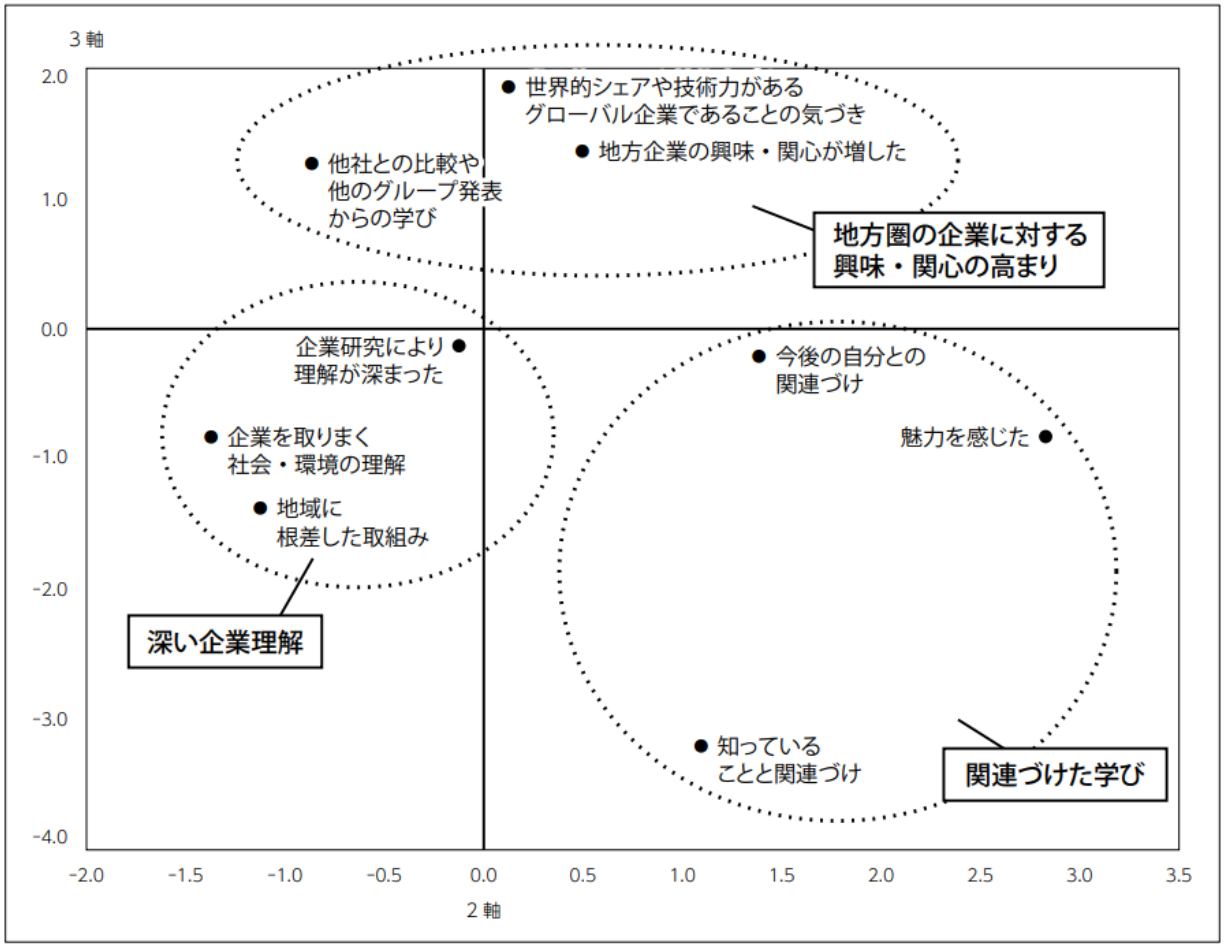


図 13　地方企業の理解度の理由の分類
（数量化Ⅲ類によるカテゴリースコアの布置）

N=316

出所）山本美奈子・松坂暢浩（2020）「大学生のキャリア教育の授業設計と運営―産学連携プログラムに着目して―」『キャリアデザイン研究』16，pp61-74

キャリア教育（プレインターンシップ）

大　学

山形大学 Yamagata University

【課題】県内の中小企業を含め進路選択の幅を広げてほしい

中小企業団体

（山形県中小企業家同友会）

【課題】県内の中小企業で働く魅力を知ってほしい

早期から地域の中小企業を知る機会を提供

→山形大学と山形県中小企業家同友会が連携し、**1年生向けインターンシップ**を2014年度から開講

出所）松坂暢浩・山本美奈子（2019）「中小企業インターンシップの教育的効果の検討－低学年次を対象としたプログラムに着目して－」，『キャリアデザイン研究（日本キャリアデザイン学会）』，15，pp17-29

キャリア教育（プレインターンシップ）

文部科学省主催「大学等におけるインターンシップ表彰」
文部科学大臣表彰「最優秀賞」（全国1位）受賞

<取組概要>
- ✓ 早期からの就業体験を通して、キャリア意識を高め、働くとは何かを考えることを目的に実施。
- ✓ 地域の中小企業の理解及び次年次以降のインターンシップ参加促進を目指し、山形県内の中小企業でインターンシップ（事前訪問１日・現場実習３日・振り返り１日）を行う。

評価のポイント　低学年　地域連携　モニタリング

○ 地域でのインターンシップの推進に向け、学生・企業が参加・受入れしやすくすることを目指し、積極的な意味での短期間のプログラムとするなど、**インターンシップ実施に係る負担感を軽減し、普及していくための工夫がなされている**。さらに、**県内中小企業における産学協働教育に対する意識改革にもつながっている点は高く評価できる**。加えて、受講者数の一層の増加や、次年次以降のインターンシップの本格実施に向けた展望をより明確にすることが期待される。

○ ターゲットを地場中小企業に絞り、**「インターンシップ・プログラム」の基本フォーマットを山形県中小企業家同友会と協働して作成**するなど、効果的な取組となるよう工夫を行っている。

○ **受講者の追跡調査を実施**し、キャリア意識や学修意欲、将来の職業選択等のプロセスと決定に関わる要因の把握にも努めているとともに、教職協働による学生向けの「インターンシップマニュアル」の策定や、学習管理システムの活用により、**効果的・効率的なインターンシップの運用**がなされている。

（基本データ　※平成29年度実績）
- ✓ インターンシップ参加者数/　**43人**
- ✓ 受入企業等数/　**25社**
  （山形県中小企業家同友会加盟企業）
- ✓ 実施年次/　**1年次【選択必修】**

※**昨年度から他大学（私大2校）が、本取組に参画している**

出所）文部科学省（2018）「受賞大学等取組概要 」より一部抜粋し、報告者らが加筆修正
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2018/12/19/1411892_02_1.pdf
（最終取得日 2023年2月7日）

キャリア教育（プレインターンシップ）

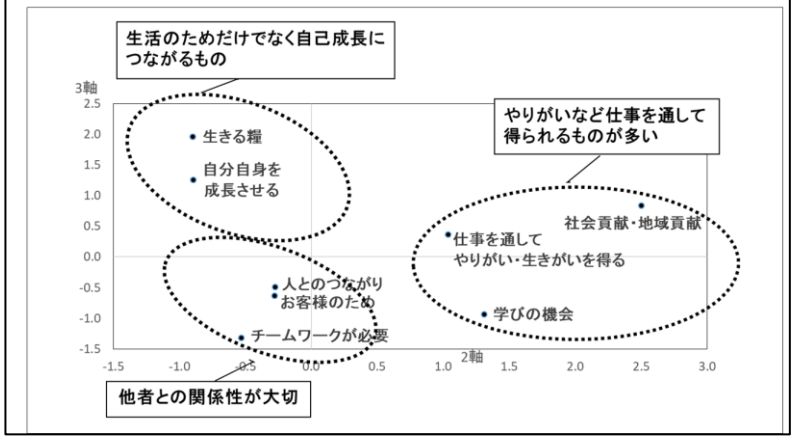
インターンシップ不参加者に比べて、インターンシップ参加者はキャリア意識が上昇し、社会人基礎力が伸長。またインターンシップ参加により「働く意味」た「中小企業の魅力」を言語化できていた

各群における調査実施前後の心理尺度の平均値と標準偏差、分散分析の結果

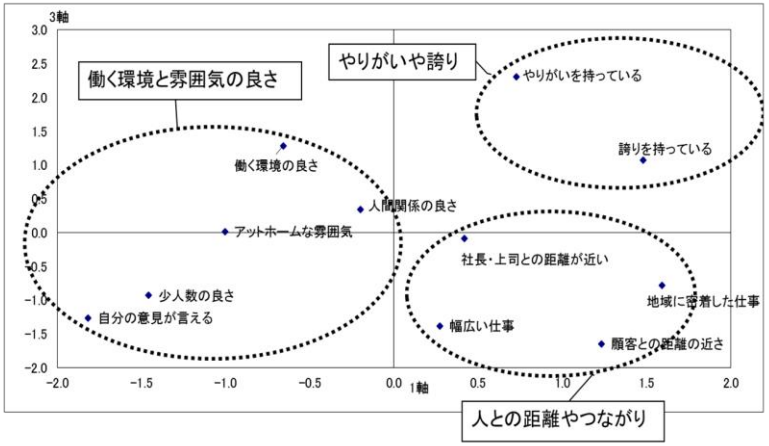
	各群	実施前	実施後	交互作用
キャリア意識 CAVT ビジョン 将来やりたいことが明確	参加者n=39	16.64±4.39	20.74±4.00	***
	不参加者 n=35	17.71±5.68	16.23±6.03	
キャリア意識 CAVT アクション 将来に向けた積極的な行動	参加者 n=39	18.23±3.96	21.31±4.41	***
	不参加者 n=35	16.43±4.48	15.23±5.01	
社会人基礎力 前に踏み出す力 主体性・働きかける力・実行力	参加者 n=39	9.18±2.35	11.31±1.76	***
	不参加者 n=35	8.34±2.36	8.11±2.63	

***p<.001

働く意味の分類（数量化Ⅲ類によるカテゴリースコアの布置）

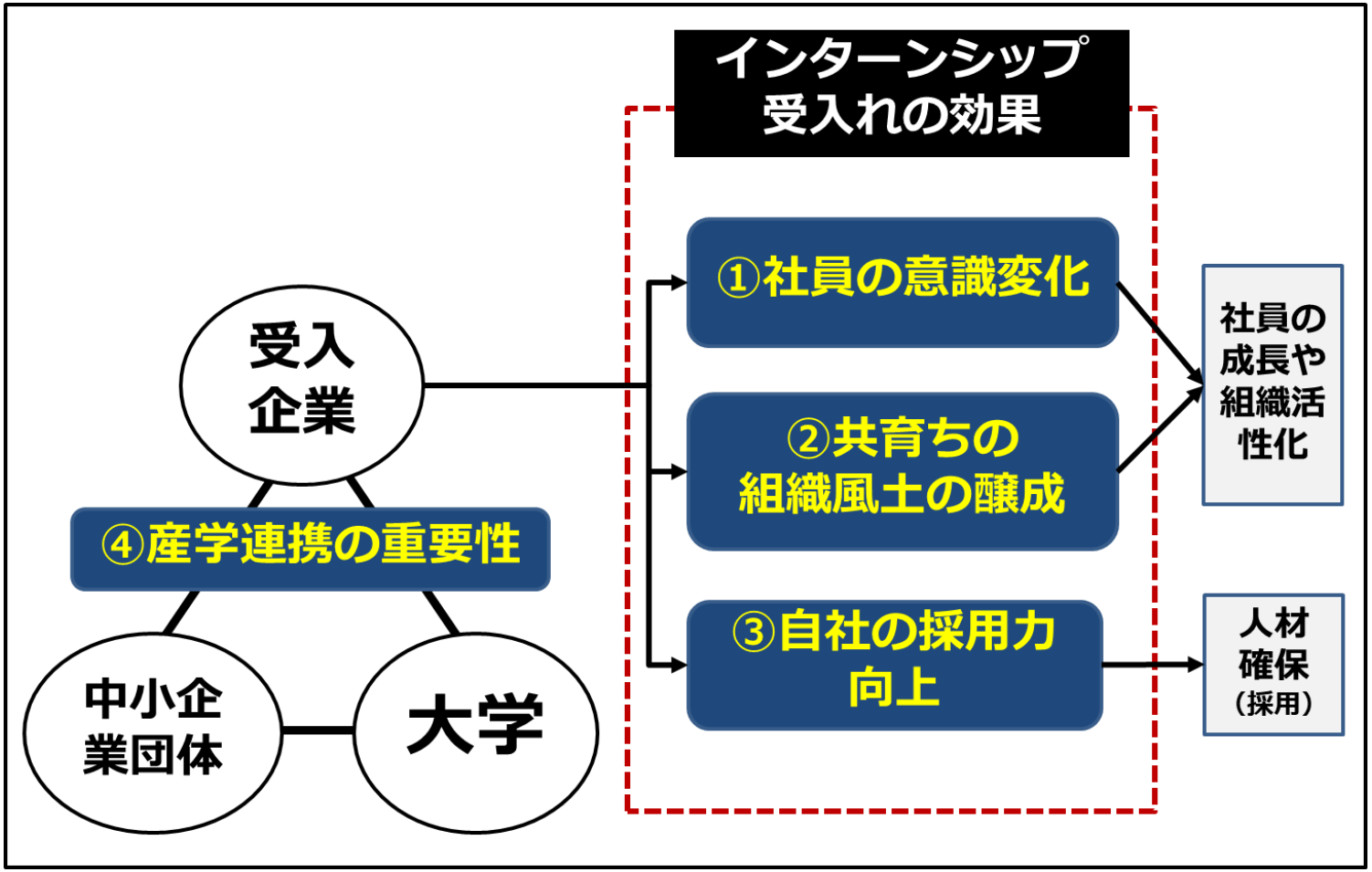


中小企業の魅力の分類（数量化Ⅲ類によるカテゴリースコアの布置）



キャリア教育（プレインターンシップ）

受入企業から見たインターンシップ受入れの効果



出所）松坂暢浩・山本美奈子（2020）「産学連携による共育型インターンシップの取り組み　ー中小企業の事例からみたインターンシップ受入れの意義ー」『企業環境研究年報（中小企業家同友会全国協議会）』，25，pp149-163

本日の流れ（タイムスケジュール）

１）コロナ禍における学生の傾向

２）山形大学における産学連携による就職支援

３）山形大学における産学連携によるキャリア教育